

2024年度東京理科大学における自己点検・評価結果の概要

2024年度における自己点検・評価結果(報告書)の概要を公表します。各基準、点検評価項目における詳細な点検・評価内容及びその結果等は、「2024年度東京理科大学自己点検・評価報告書」をご確認ください。

【補足】点検結果欄:適切と判断した場合は「○」を、適切と判断するが一部改善事項が生じている場合は「△」を付しています。

改善事項の概要欄:点検結果欄に△を付した場合は、生じている改善事項の概要を明示しています。

改善結果及び改善結果の概要欄:2025年度に改善活動に取り組み、その結果が取り纏まり次第公表します。

【基準1】理念・目的

点検・評価項目	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
① 目的の設定・公表 大学の理念・目的を適切に設定し、公表していること。	△	本学の理念・目的の体系性とその内容の学生への周知と認知向上について、全学的な対応が必要		
② 計画・施策等の設定 大学として中・長期の計画その他の諸施策を策定していること。	△	「中期計画2026」について進捗が計画どおりでない施策の整理等と、これに対する支援等の検討が必要		
長所・特色: 建学の精神及び教育研究理念を実現すべく、その具体的な教育方針として掲げる「実力主義」は学内外に広く認知されているなかで、近年、当教育方針を再定義し、かつ、正課の教育プログラムに具体的に落とし込むことで、学生の次代に向けた実力主義に係る資質・能力を涵養し、伝統を受け継ぎながらも変革の姿勢を持って学生の意識向上をはかっていること。				
長所・特色に関連する本学ホームページ: 新実力主義教育プログラム https://www.tus.ac.jp/academics/faculty/powerpg/				

【基準2】内部質保証

点検・評価項目	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
① 内部質保証の方針の設定、内部質保証システムの整備と機能 内部質保証のための方針を適切に設定し、内部質保証システムを整備し適切に機能させていること。	○	-		
② 大学の諸活動の公表 大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。	△	学生の学習実態や学習上の成果に関する情報の公表方法を工夫し、幅広いステークホルダーの理解促進に努めることが必要		
③ 内部質保証システムの点検・評価、改善・向上 内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取り組みを行っていること。	○	-		
長所・特色: 学内外者で構成される大学質保証推進委員会が中心となり、客観的に評価を行いながら、自己点検・評価活動から改善活動までを確実に実施し、改善の成果を挙げていること。また、学外者が評価者である外部評価で得られた意見等も改善活動に反映し成果を挙げていること。これらを含む大学の諸活動の状況等を適切に公表していること。				
長所・特色に関連する本学ホームページ: 内部質保証 https://www.tus.ac.jp/about/data/guarantee/overview/				

【基準3】教育研究組織

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	各組織の設置状況 大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附属研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。	○	-		
②	教育研究組織の点検・評価、改善・向上 教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けて取り組んでいる。	○	-		

長所・特色:
教育研究の基盤となる各学部・学科、各研究科・専攻を設置し、理工系総合大学として伝統を継承しつつも、学部・研究科の枠を超えた全学的な視点から教育研究の推進及び改善・向上に向けた取り組みを行っており、構想、計画段階ではあるが、神楽坂キャンパスでは理学部第一部に国内唯一となる「科学コミュニケーション学科」の設置、野田キャンパスでは最先端の情報科学技術分野の教育・研究を推進するため「創域情報学部情報理工学科」の設置を予定していること。

長所・特色に関連する本学ホームページ:
新学部・新学科設置に関するホームページ <https://www.tus.ac.jp/reorganization/2026/>

【基準4】教育課程・学習成果

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	達成すべき学習成果の明示 教育・学習の基本的なあり方を示していること。	○	-		
②	授業科目の開設と教育課程の体系的 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること	○	-		
③	授業形態、学生指導・支援 学習成果の達成のために適切な授業形態、方法ととり、学生が意欲的かつ効果的に学修を進めるための指導や支援を十分に行っていること。	△	卒業生・進路先企業に対するアンケートで挙げた課題の改善が必要		
④	成績評価、単位認定、学位授与 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。	○	-		
⑤	学習成果の把握と評価 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価している。	△	・学修ポートフォリオシステムのシステム改修や運用方法の具体的な改善策の検討を通じて活用率の向上が必要 ・学習成果だけでなく学生の満足度や学修時間に関する把握・評価を行い、その結果を情報公開できるよう体制を整える必要がある		

長所・特色:
教育支援機構において、学校法人東京理科大学中期計画2026(2022～2026年度)に掲げる「世界の未来を拓く人材育成のための『新実力主義』教育プログラムの確立」に向けて検討を行い、2024年度から「社会課題とイノベーション、デザインシンキング、システムシンキングに関する科目の開講」等の取り組みを開始し、学生には履修の手引きへ掲載し周知したこと。
各学部学科・研究科専攻で遠隔授業が運用されている状況等を踏まえ、2024年度の開講授業から「遠隔授業の実施にあたっての事前審査及び効果検証」を開始し、授業担当教員自身でも点検が可能となったこと。他

長所・特色に関連する本学ホームページ:
中期計画2026 <https://www.tus.ac.jp/about/features/plan2026/>
新実力主義教育プログラム <https://www.tus.ac.jp/academics/faculty/powerpg/>

【基準5】学生の受け入れ

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	入学者受入れの方針に基づく入学者選抜制度・体制の整備と公正な実施 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。	○	-		
②	定員管理 適切な定員を設定して学生の受入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。	△	収容定員充足率または入学定員充足率において認証評価機関が示す目安に抵触している学科、研究科、専攻について、定員管理の改善が必要		
③	学生受入れの点検・評価、改善・向上 学生の受入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	△	総合型選抜の志願者が減少した原因を分析し現状把握したうえで、入試制度見直しの検討と入試広報活動の拡充が必要		

長所・特色:

理事会および大学が合同で運営する入試改革推進委員会において状況を確認し、経営面(学生数の確保)および教学面(本学の入学者受入れの方針に合致する学生の確保)の視点から課題を共有し、改善策の検討を行っていることで、法人・大学が一体となった入試改革の実施ができています。

長所・特色に関連する本学ホームページ:

入学者受入れの方針

<https://www.tus.ac.jp/about/faculty/policy/>

【基準6】教員・教員組織

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	教員組織の編制方針に基づく教員組織の編成 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的かつ従前に展開できる教員組織を編成し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。	△	・編成方針の検証が必要 ・クロスアポイントメント制度について、規程・要項等の検証が必要		
②	教員の募集、採用、昇任等の適切な実施 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。	○	-		
③	教育等改善と教員の資質向上 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。	△	授業TAの効果と問題点の検証と、研修・運用の改善が必要		
④	教員組織の点検・評価、改善・向上 教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	○	-		

長所・特色:

2024年度には、学部学科等の再編に伴う新規の教員採用や教員の配置換え、クロスアポイントメント制度の新規制定、教員の業績評価基準の改定等、教員配置や制度のあり方を見直す対応を行い、適切な教員組織の編成に向けて組織の活性化に資する取り組みを推進できていること。また、教育支援機構教育DX推進センターを中心としたFD活動では、授業改善のためのアンケートの結果を活用して評価の高い授業を選定し、参加対象を全教職員に広げ、授業参観を実施し、高評価である自由を分析・共有していること。

長所・特色に関連する本学ホームページ:

教育DX推進センターホームページ(授業改善の取組み)

https://www.tus.ac.jp/fd/series_category/questionnaire/

【基準7】学生支援

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	学生支援の方針に基づく学生支援体制の整備と実施 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。	○	-		
③	学生支援の点検・評価、改善・向上 学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	△	進路先企業に対するアンケートで挙げた課題の改善が必要		
長所・特色: 本学は学生の大学院進学率が非常に高いことから、本学独自の奨学金制度について例年検証を行っており、近年博士課程の学生に向けた経済支援を中心としていたところ、修士課程の学生にその対象を広げ、理工系大学ならではの学生支援体制を強化していること。また、外国人留学生数の増加に比例して、理工系の専門的な語学力が必要となる学習面で支援を要する外国人留学生が増加傾向にあることについて、従来の大学院生による留学生アドバイザー制度を学生有志によるピア・サポートへ切り替えたことで、支援効果の上昇につながっていること。					
長所・特色に関連する本学ホームページ: 奨学金制度 https://www.tus.ac.jp/tuslife/campuslife/scholarship/ 外国人留学生支援 https://www.tus.ac.jp/tuslife/foreignstudents/universitylife/					

【基準8】教育研究等環境

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	教育研究等環境の整備に関する方針に基づく環境整備 教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。	○	-		
②	図書館、学術情報サービスの提供の体制整備と機能化 図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか。	○	-		
③	研究活動の促進 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。	○	-		
④	教育研究等環境の点検・評価、改善・向上 教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し改善・向上に向けて取り組んでいること。	○	-		
長所・特色: 環境安全管理においては、神楽坂、野田、葛飾の各キャンパスに環境安全センターを設置し、各種安全指導や周知・危険性物質取扱い状況を確認しているとともに、学科主催の安全教育に指導者として参加するほか、安全教育の教科書の執筆にも加わるなど、管理だけでなく「教育」の一端を担っていること。 2021年度から実施している学生個人所有のノートパソコンの必携化(BYOD)は、全国においてもこれを全学的に実施している大学は珍しく、高度情報化社会における情報通信技術の十分な活用能力を有する人材育成の一端を担っており、このため、学内のITインフラを継続して安定的運用を可能とするため全キャンパスにおいて冗長化がされていること。					
長所・特色に関連する本学ホームページ: 環境安全センター https://www.rs.kagu.tus.ac.jp/env_pres/index.htm (重要:2025年度入学予定の皆様)「ノートパソコンの必携(BYOD)」について https://www.tus.ac.jp/today/archive/20241204_8015.html					

【基準9】社会連携・社会貢献

点検・評価項目	点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
① 社会連携・社会貢献に関する方針に基づく取組み 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき取組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。	○	-		
② 社会連携・社会貢献活動の点検・評価、改善・向上 社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	○	-		

長所・特色:

社会貢献・連携は本学の中期計画2026において主要項目の1つに位置づけており、本学の教育研究力を活かし、各キャンパスの周辺地域の発展に資する以下のような連携活動をとおりて各キャンパスが地域社会の軸となり、その持続的な発展に貢献することを目指しており、キャンパスを軸とした中期的な方針が明確化されていること。

- ・創域理工学研究科に設置しているサステイナブルアーバンシティセンターにおける取組み
- ・理数教育研究センターにおける「算数/数学授業の達人大賞」「理科授業の達人大賞」「宇宙教育プログラム」等

長所・特色に関連する本学ホームページ:

理数教育研究センター	https://www.tus.ac.jp/mse/
サステイナブルアーバンシティセンター	https://dept.tus.ac.jp/csuc/

【基準10(1)】大学運営・財務 (1)大学運営

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	大学運営に関する方針に基づく組織の設置、適切な大学運営 大学運営に関する方針に基づき、学長をはじめとする所要の職を置き、教授会等の組織を設け、これらの権限等を明示していること。また、それに基づいた適切な大学運営を行っていること。加えて、大学を設置・管理する法人の運営が適切であること。	○	-		
②	予算編成、予算執行の適切性 予算編成及び予算執行を適切に行っていること。	○	-		
③	大学運営等に係る事務組織の整備と機能化 法人及び大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な組織を設け、人員を配置していること。また、その組織が適切に機能していること。	○	-		
④	大学運営の点検・評価、改善・向上 大学運営に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善向上に向けて取り組んでいること。	○	-		

長所・特色:

事務職員の人事制度について、事務職員自らがそれぞれの持つ力を最大限に発揮させ能力を開発し、組織を活性化することで本学の発展に貢献することを人事制度の基本的な考えとして定め、事務職員の個人目標を整理した上で、これに付随するかたちで、①各役職毎の果たすべき役割である「役割定義」や、役割を果たすための職務遂行能力であり、評価要素でもある「職能要件」について、目標達成への意識浸透を踏まえたものに変更、②職場全体の力で課題解決に取り組む風土を醸成し、革新的、先駆的な取り組みにチャレンジする人材を育成していくべく、プロジェクトに対する評価の方式を変更、③所属部署における減員等の状況においても円滑な業務遂行に貢献した者に対する加点要素の創設など、新たな考え方を取り入れたものとしたこと。

長所・特色に関連する本学ホームページ:

専任職員採用

<https://www.tus.ac.jp/recruitment/staff-list/expert/>

【基準10(2)】大学運営・財務 (2)財務

点検・評価項目		点検結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
①	中・長期の財政計画の策定 教育研究活動を安定して遂行するため、中・長期の財政計画を適切に策定しているか。	○	-		
②	安定的な財務基盤の確立 教育研究活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	○	-		

長所・特色:

長期ビジョンや中期計画などの中・長期の計画を念頭に、これに紐づく財政計画・財務シミュレーションを精緻に作成しており、これらを判断材料として継続的に活用しながら、キャンパスの施設設備投資や学費改定といった法人・大学運営に関わる重要事項の意思決定が実施される体制を整備していること。なお、昨年までと同様、オープンカレッジ事業やネーミングライツ・パートナー事業等の取組みを他大学に先駆けて多数推進している等収入源の多様化に努めており、学生納付金に過度に依存しない取り組みを進めていること。

長所・特色に関連する本学ホームページ:

収支報告(予算、決算)

<https://www.tus.ac.jp/about/data/project/budget/>

※この他、2023年度以前の自己点検・評価活動により改善が必要であると判断した事項(改善事項)のうち、2024年度末までに改善活動に取り組んだが完了していない事項についても「2024年度自己点検・評価報告書」に盛り込み、継続して改善活動を行うこととしている。